

作業療法 第41巻 第2号 (通巻227号) 目次

◆巻頭言

[ノーベル経済学賞から考える日本の作業療法研究](#) 川又 寛徳 143

◆第55回日本作業療法学会基調講演

[高次脳機能障害の理解とリハビリテーションアプローチ](#) 平山 和美 145

[作業療法におけるQOL評価](#) 鈴嶋よしみ 154

◆第55回日本作業療法学会教育講演

[ホリスティックアプローチとしての精神障害作業療法](#) 築瀬 誠 160

[認知症の人が社会参加をするための作業療法](#)

—「想い」「役割」「先入観」に焦点を当てて— 竹原 敦 166

◆総説

[上肢外固定が自動車運転能力へ与える影響に関する文献レビュー](#) . . . 白戸 力弥・他 171

◆原著論文

[急性期肺炎患者のリハビリテーションアウトカムによるクラスタリングと患者背景・](#)

[経過に関する検討](#)—後ろ向きケースコントロール研究— 今岡 泰憲・他 179

[作業療法のクリニカルリーズニング評価尺度の有用性](#)—尺度を活用した新人教育におけ

る学習者と教育者の経験の分析— 丸山 祥・他 188

[作業療法のクリニカルリーズニング自己評価尺度 \(SA-CROT\) の妥当性と信頼性の](#)

[検討](#) 丸山 祥・他 197

[地域在住の高齢男性および女性の要介護認定発生リスクを高める](#)

[健康関連状態](#) 林 浩之・他 206

[通所リハビリテーションを利用する要介護者の自己効力感に影響を与える因子に](#)

[ついて](#) 西 聡太・他 214

[訪問リハビリテーションに従事する作業療法士が対象者の活動・参加レベルの](#)

[目標達成を支援するプロセス](#)

—複線径路等至性アプローチ (TEA) による分析の試み— 齋藤 佑樹・他 226

◆実践報告

[脳卒中後アパシーを呈する症例の意欲や行動障害に「意味のある作業」の提供が及ぼす](#)

[影響](#)—症例報告：小集団活動の介入可能性に関する一考察— 舞田 大輔・他 239

[脳卒中患者に対するMTDLPの実践過程において修正CI療法を実施した](#)

[一事例](#) 宝田 光・他 247

[長期入院統合失調症患者に対するポジティブ作業評価を用いた作業療法](#)

—事例報告— 萬 貴裕・他 254

編集後記

▶本項執筆時は、ちょうど冬季北京オリンピックと令和3年度の第57回作業療法士国家試験が終了したところです。令和3年度は、30年ぶりに夏季東京オリンピックと冬季オリンピックが同じ年度に行われました。冬季オリンピックでは、色々な問題が取りざたされましたが、コロナ禍にもかかわらず、どちらのオリンピックも歴代のメダル数を超える成績であったことは、日本国民として誇らしい限りでした。そして新たな世代の活躍を目の当たりにして個人的には、とても明るい話題を発信してもらったと思っています。今春、国家試験を無事パスした、新たな世代の皆様のこれからのご活躍を心より祈念しています。

(K・S)

▶論文に“遠隔作業療法”“タブレットを用いたリハビリ”“ICT 機器を活用”といったキーワードを見かけるようになった。今までは、当然のように対象者と面と向かって作業療法が行われていたが、ITの進歩とコロナ禍の後押しもあって急速に発展してきた感がある。遠隔によるコストや時間の削減、へき地など場所を問わずに作業療法を提供できるメリットが注目されるが、作業療法士には、対象者と直に話し、観察し、触れることでしか心や身体の状態をくみ取れない確かな感性と技術が存在している。AIにとって代われないと言われる所以であるが、ITを活用しながら、対象者の意思や価値観を尊重したより効果的な作業療法の発展を期待したい。

(H・O)